



企業の防災対策・事業継続強化

企業の事業活動は、主に4つの経営資源（ヒト・モノ・カネ・情報）に支えられています。しかし、大規模地震が発生した場合、何らかの制約を受ける可能性が極めて高くなります。そのため、災害発生時にその経営資源を守り、事業活動を継続・復旧させることを目的とした事前の災害対策は非常に重要です。

◆防災対策 ～主にヒト・モノを守る行動～

防災の取り組みは、生命の安全確保（ヒト）と物的被害（モノ）の軽減を目的としています。

☞ 備えが来ているか、労使で定期的に確認しましょう！

事業所の耐震化 	オフィス家具・機器の転倒防止 	二次災害防止 （出火/落下/飛散/浸水） 	食料・医薬品・トイレ等の備蓄
教育・訓練の実施 	役割・体制 （指揮命令、被害確認） 	安否確認 	人命の安全確保 （避難経路/救命救助）

◆事業継続 ～事業継続計画（BCP）の策定～

不測の事態が発生しても、重要な業務を中断させない、または中断しても可能な限り短期間で復旧させるための方針、体制および手順等を示した「行動計画」のことです。

BCP策定の重要ポイント ～大規模地震の影響/想定リスクを踏まえ～

①事業継続に対する基本方針を明確化

（例、「人命を最優先とする」「重要顧客に対する供給責任を果たす」など）

②事業中断による影響、想定事象やそれに伴うリスクを想定

（大規模地震においては一定期間、ライフラインや交通の制約があることも踏まえる）

☞ 完璧なものを目指すのではなく、3つの要素を明確化しましょう！



事業継続経営やBCPの3つの要素	1. 重要業務の選定	優先的に復旧すべき製品/サービス（観点） ・ 売上/利益への寄与 ・ 顧客の必要性 ・ 納期短いもの
	2. 目標復旧時間の設定	重要業務について、 ・ いつ頃まで復旧すべきか ・ どの程度まで許容できるか ⇒ 復旧までの許容時間・水準を見極める
	3. 必要リソースの確保	重要業務に必要な最低限のリソース（ヒト/モノ/カネ/情報）をどのように確保するか（復旧させるのか、代替確保するか） 事業継続には、重要情報やシステムを使用することが不可欠（バックアップ保持、電源確保などは重要な対策）

特に、部品や素材・原料（≒モノ）の確保においては、1次仕入先だけでなく、その先の仕入先（サプライチェーン）も意識が必要です。☞ BCP 策定は、“企業経営”と“サプライチェーン”を守る第一歩！